

講演 3

中期DX戦略＜2024-2026＞について

取締役副社長 DX経営推進室長

関口 猛



1. 当社のデジタル化の変遷
2. 中期DX戦略＜2024-2026＞
～超建設によるデジタルゼネコンの進化～
3. 主なDX施策

1. 当社のデジタル化の変遷

2014	12月	中期ICT戦略2014 策定	SHIMZ VISION 2030 Smart Innovation Company スマートイノベーションカンパニー Resilient 安全・安心で レジリエントな 社会の実現 Inclusive 健康・快適に暮らせる インクルーシブな 社会の実現 Sustainable 地球環境に配慮した サステナブルな 社会の実現 ・・・ シミズグループが提供する価値 ・・・
2017		経産省×東証主催「攻めのIT経営銘柄」に選定される	
2019	5月 6月	長期ビジョン「SHIMZ VISION 2030」公表 中期デジタル戦略2019 策定	
2020		新型コロナウイルスで緊急事態宣言発令 (中期デジタル戦略2019の見直し)	Shimz デジタルゼネコン 「ものづくり（匠）の心」を持った「デジタルゼネコン」 ものづくりをデジタルで デジタルな空間・サービスを提供 ものづくりを支えるデジタル
2021	7月	戦略コンセプト“Shimzデジタルゼネコン”公表 経産省×東証主催「DX銘柄」に選定される（以後3年連続）	
2024	5月 7月	中期経営計画＜2024-2026＞ 公表 中期DX戦略＜2024-2026＞ 公表	DX銘柄2021 DX銘柄2022 DX銘柄2023 Digital Transformation Digital Transformation Digital Transformation

1. 当社のデジタル化の変遷：「中期デジタル戦略2020」の振り返りと環境認識



中期デジタル戦略 2020 振り返り

- 戦略のコンセプトである3つのデジタル化を軸に、柔軟な働き方への対応や個々の現場の生産力向上、竣工後サービスの市場導入が進んだ。

◆ ものづくりをデジタルで

建設事業の業務効率化

遠隔検査、遠隔監視、360°カメラ、構造AIシステム、3Dプリンタ、BIMの活用

建設現場へのBIMを中心としたデジタル技術導入等、施工を中心にものづくりのデジタル化が進展

◆ デジタルな空間・サービスを提供

竣工後のサービスを創出

DX-Coreを市場に展開、スマートシティや病院等への導入
デジトリ360

スマートシティ、病院等のDXを支援するソリューションを開発

◆ ものづくりを支えるデジタル

新たなワークスタイルに対応

在宅勤務などの普及に合わせたリモートワークの環境構築や
帳票類（ワークフロー）の電子化、RPAによる業務自動化

コロナ禍において柔軟な働き方ができる環境づくり、情報セキュリティ対策の強化

環境認識

内部環境

- 事業横断、部門横断のデータ活用ニーズの高まり
- 経営に貢献するデジタル活用への期待増
- スピード感のあるデジタルサービスの導入
- デジタルスキルの差の拡大

外部環境

- 生成AIをはじめとしたデジタル技術の活用による企業競争の激化
- 顧客ニーズの多様化
- 難化するDX人材の獲得
- サイバーセキュリティリスクの増大

中期経営計画＜2024-2026＞

デジタルゼネコンの進化とデータドリブン・DXによる
経営・事業推進体制の強化

中期DX戦略

〈2024-2026〉

～「超建設」によるデジタルゼネコンの進化～

SHIMZデジタルゼネコン 2.0

～「超建設」によるデジタルゼネコンの進化～



2. 中期DX戦略<2024-2026>：DX戦略の位置付け

中期DX戦略<2024-2026>

「超建設」による Shimz デジタルゼネコンの進化

スマートイノベーションカンパニーに向けた

「超建設」



DX

「超建設」のマインドセットとデジタル技術により、お客様や社会の本質的ニーズをより深く掘り下げるとともに、既存の事業や組織の枠組みを超えた事業構造（ビジネスプロセス、ビジネスモデル、サービス）、技術、人財・組織のイノベーションを促進・融合を図る。

社是
論語と算盤

経営理念

真摯な姿勢と絶えざる革新志向により
社会の期待を超える価値を創造し 持続可能な未来づくりに貢献する

長期ビジョン
SHIMZ VISION 2030

スマートイノベーションカンパニー

『時代を先取りする価値を創造し続ける会社』



中期経営計画<2024-2026>

持続的成長に向けた経営基盤の強化

中期DX戦略<2024-2026>

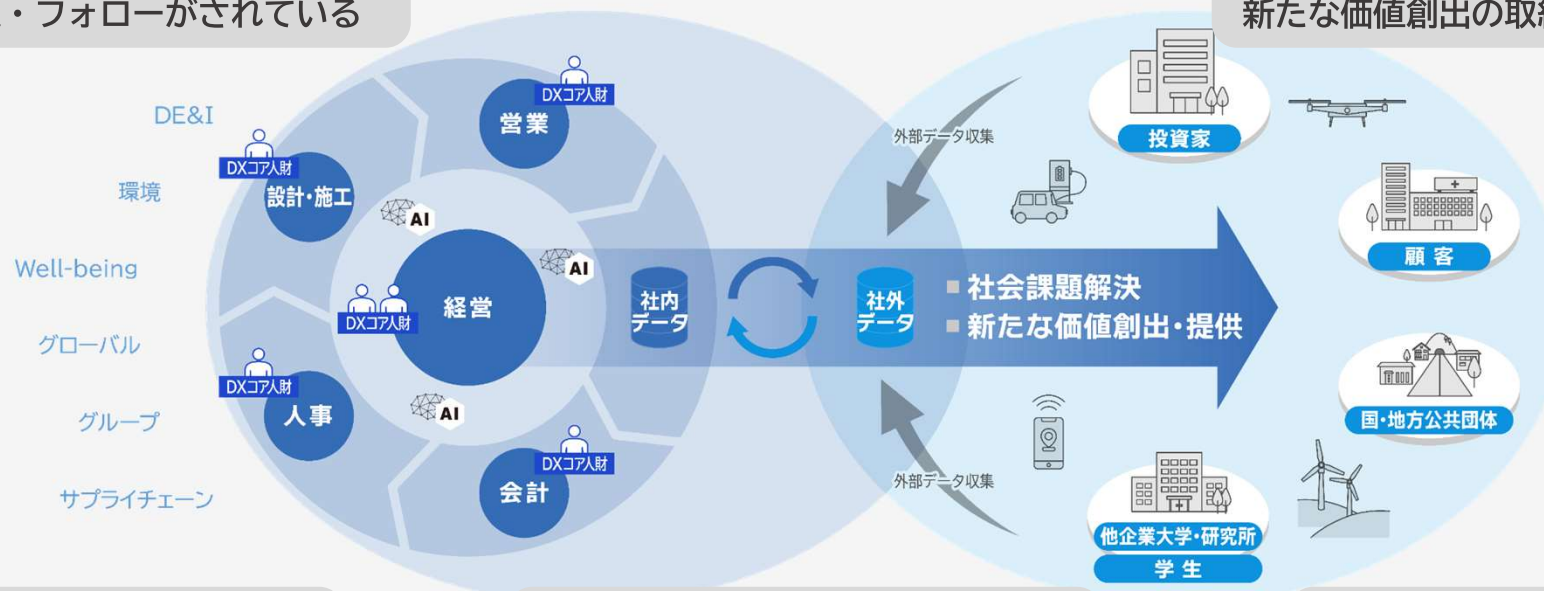
新たなマインドセット「超建設」

2. 中期DX戦略<2024-2026>：シミズが目指すDX<2030>

私たちは、人とデジタルの力を最大限に発揮できる企業風土・文化へ変革し、建設業界のDXを牽引するリーディングカンパニーを目指します。

社内外データに基づき、時流を先読みした的確な戦略立案・方針決定・フォローがされている

顧客・社会のニーズを捉え、当社の強みとデジタル技術を掛け合わせ、新たな価値創出の取組が行われている



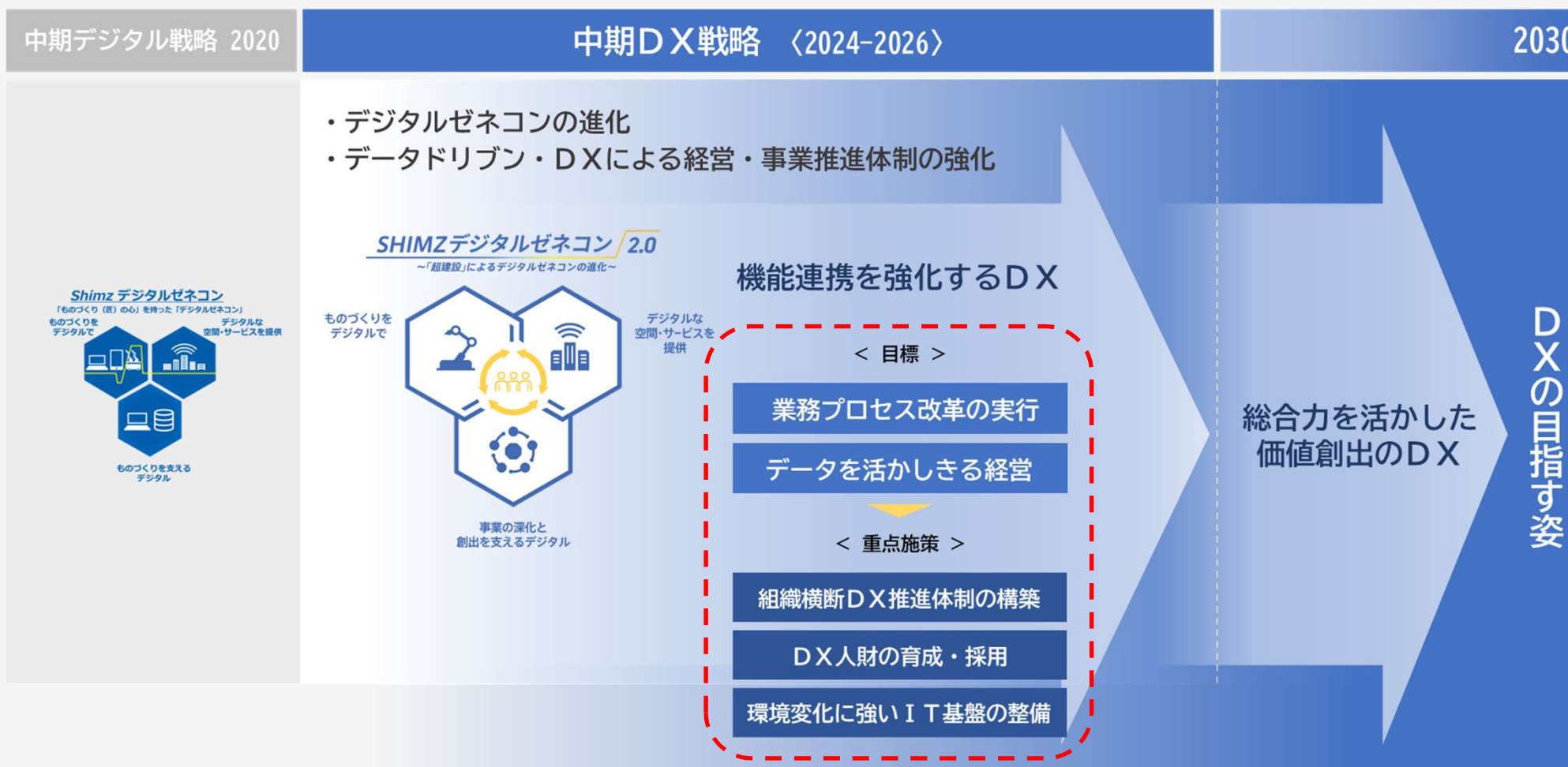
個々の人財の能力を可視化・共有することでグループ全体の組織力が強化されている

業務プロセス標準化と構造化データの蓄積により環境変化に対応可能なDX推進基盤が整備されている

様々な業界のステークホルダーと協働の輪を拡げ、業界を超えた機能連携されている

2. 中期DX戦略<2024-2026>

目指す姿の実現に向けて、2024～2026年度はDXにより機能連携を強化する



3. 主なDX施策（具体例）：DX人財の育成「シミズ・デジタル・アカデミー」

ねらい

- ① 役員・従業員のデジタルリテラシーの底上げ
- ② データとデジタル技術を活用し業務変革・新規ビジネス創出をリードするDXコア人財の育成



3. 主なDX施策（具体例）：「シミズ・デジタル・アカデミー」実施状況

新入社員DX研修 ～DXコア人材育成の先行的取り組み

2023年度の新入社員を対象に**1年間**にわたる「DX研修」を実施

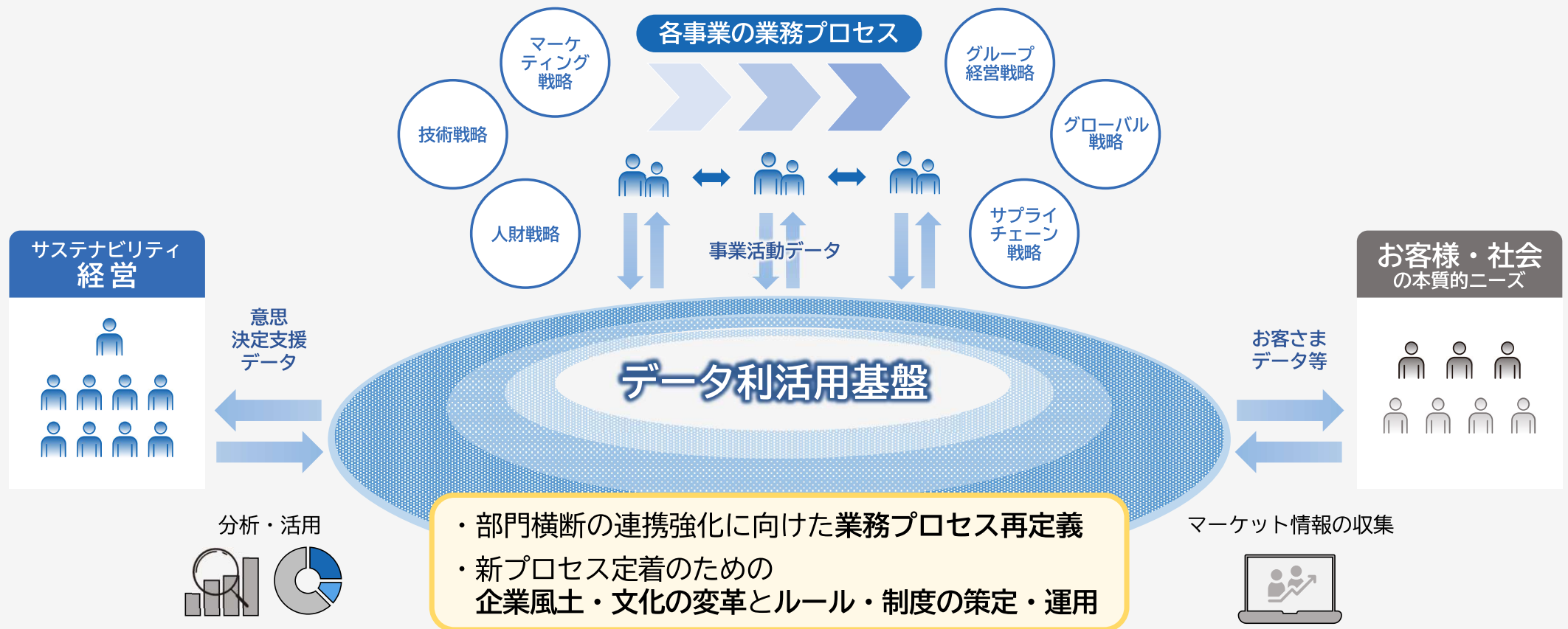
- ・受講者は、技術系・文系を問わず全ての系統から**選抜された27名**
- ・研修修了後もDXコア人材教育コース受講者と交流

2024年度の新入社員は **全員に**「DX研修（短期コース）」を実施



3. 主なDX施策（具体例）：データ利活用基盤の構築

機能・業務ごとに分散するデータを集約し、プロセスをワンストップで繋げ
さらなる価値づくりを促進するデータ利活用基盤を構築する



3. 主なDX施策（具体例）： AI 最新技術の活用促進

全社 生成AI 利用環境の整備

テキスト生成AI

- ・従業員が安全にAIを活用できる環境を構築
- ・活用ガイドラインの策定、マニュアルの整備



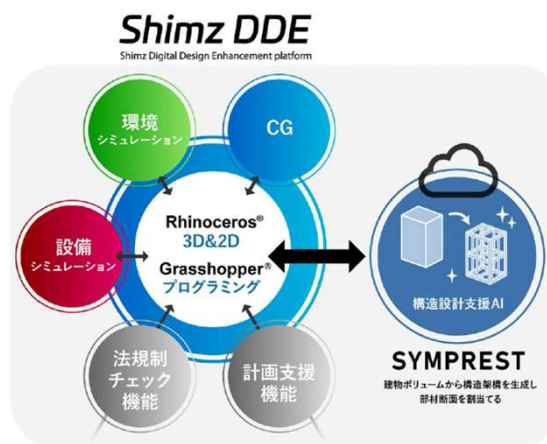
<https://www.shimz.co.jp/information/others/20240326.html>

AI 技術の業務への適用

最新AI関連技術を活用したシステムの開発・内製化

構造設計支援AI SYMPREST

- ・設計初期段階での構造検討業務を支援
- ・クラウド上にWEBアプリケーション化し社内運用
- ・設計者の業務の高度化と効率化を同時に図る



<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2023/2023035.html>

現場安全管理支援AI 車両搭載型安全監視カメラシステム

画像解析AIを活用して建設重機オペレータの死角となる後方危険区域内にいる人や車両を瞬時に検知し、警告音、ライト点灯等でアラートを発報



<https://www.shimz.co.jp/solution/tech388/>